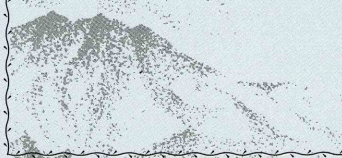


雄峰の由来

「風雪に耐えた高峰は
雄大で気品と自信に満ちている」



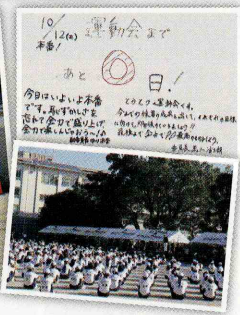
雄峰

第170号

編集・発行 PTA広報部
鹿児島市郡元一丁目20番35号
令和6年12月17日



今を胸に刻み さあ!翔び立とう!



声を張り上げて仲間を応援する姿。懸命に歯を食いしばり走る姿。子どもたちの精一杯の頑張りに、私たちが保護者も心が熱くなり、子どもたちの成長を誇らしく感じた一日となりました。

これからの主な予定 (行事は変更・中止もあります)

- 12/24 後期前半終了
- 1/8 後期後半開始
- 1/20 入学者総合選考に伴う振替休日
- 2/10 入学者最終選考に伴う振替休日
- 2/17 1年授業参観並びにPTA
- 2/18 2年授業参観並びにPTA
- 2/18 3年PTA

「静思」
「翔ける
煌めく未来へ」



主幹教諭
豊留 洋輔

「出る杭は打たれるが、出過ぎた杭は柱になる」、附属中に赴任したばかりのころ、先輩の先生から教えてもらった言葉です。附属中がこれまでずっと大事にしてきた生徒主体の学校行事、それを成功させるためには、中心となるリーダーの存在が欠かせません。今年度も文化祭や運動会などの様々な行事を創っていく中で、たくさんの方が先頭に立ち、リーダーとして活躍する姿が見られました。後期前半が終わろうとしている今、それぞれの学級や学年では、たくさんの柱が立ってきていることでしょう。その一つ一つの柱が頑丈であればあるほど、安定した居心地のいい空間を創り出せているはず。附属中で育った、たくさんの頑丈な柱が、将来の鹿児島や日本、世界を支えていくと信じています。

第64回 2024.9.26

文化祭

輝かせよう 革新の舞台
咲き誇る 信頼の花



～2年生 学年合唱「ともしびを高くかかげて」「虹」～

～3年生 クラス合唱～

思い出 文化祭実行委員長 三三 城山 恒治

文化祭実行委員会にせっかく入るなら思い出に残るものにしたいという想いで、文化祭実行委員長に立候補しました。文化祭の運営は、3年生の合唱練習と並行して行い、どちらも力を入れてきました。何かとギリギリになることが多く、つなぎの進行練習は少なかったのですが、配役の生徒たちは皆快く受け入れてくれて、大成功の文化祭をつくることができました。僕はこの文化祭で人をまとめる経験を積み、素晴らしい思い出を作ることができました。附中生の皆も、この文化祭で最高の思い出を残すことができたことと思います。



3-1 ♪ 愛は時を越えて 水平線



3-2 ♪ 葡萄の樹 ただ君に晴れ



3-3 ♪ COSMOS 栄光の架橋



3-4 ♪ 春に サザンカ



3-5 ♪ 夜明けから日暮れまで スパークル

～1年生 学習発表「愛は鹿児島を救う」～



3年生



2年生



1年生



吹奏楽部 『Cheer UP 附属!!』



合唱部 『結～わたしたちの軌跡～』



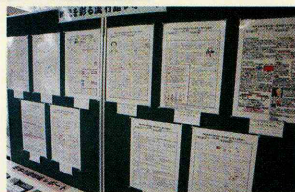
演劇部 『Re:place ending』



文化祭実行委員

生徒作品の展示

10月28日～11月8日まで、各教科の生徒作品及びレポートの展示がありました。



～当日の様子～

先生方からも熱い応援



第74回 2024.10.12

運動会

清々しい青空の下、第74回運動会が開催されました。結果は、競技の部・赤組優勝、応援の部・黄組優勝でした。



美術部作成

咲き誇れ 我らの情熱
翔ける 煌めく未来へ



若き夢

無事に運動会を終えた今、安心して同時に大きな達成感を感じている。最初は不安があつたとしても「挑戦」を続けることを今後の新しいステージでも大切にしていきたい。

運動会ではライバルと競い高め合う姿、応援する姿など多くの生徒の思いが咲き誇っていた。

体育委員長としての活動が始まった二年の後期。最初は体育委員の経験もなく戸惑いばかりの日々だった。それでもいろいろな人達の協力により運動会を迎えることができた。

副委員長 委員長 行委員長として最後の運動会を駆け抜けることができた。

若き夢

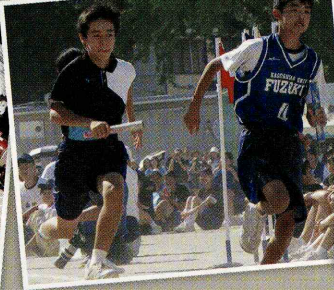
運動会実行委員長

三一五 黒木清士朗

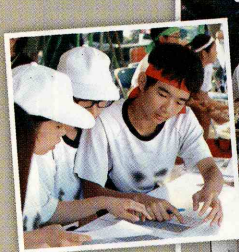
私は運動会実行委員長として

部活動対抗リレー

生徒会が企画した部活動対抗リレーが行われました



係活動もがんばりました



1500m走



800m走

応援合戦!

白組



黄組



緑組



青組



赤組



団長・副団長を中心に
夏休みから猛練習!!

3年



咲き誇れ3年生の情熱 翔ける 煌めく未来へのバトン



跳ねて踊ろう! ~思春期の心~

2年



爽快! 五色の虹ジャンプ!



150m走

1年



咲き誇れ5つの輪 繋~愛は遠心力を超える~



150m走

生徒も保護者も全力で応援



新記録

2年男子
100m走

2年3組
細山 遥斗
12秒36

3年生 職場体験学習

60か所の事業所に御協力いただき「働く」という経験を通じて多くのことを学びました。

10月29日～10月30日



サカイ引越センター



和光幼稚園



市水族館公社



お茶の美老園



十字屋 CROSS



鹿児島銀行



焼肉なべしま



MBC 開発株式会社



ブックセンターめいわ



初めての職場体験

三十四 高 恵実

二日間の職場体験学習は、私にとって

貴重な経験となりました。私は鹿児島茶の販売をしている「お茶の美老園」で働く体験をさせて頂きました。多くの仕事を体験しましたが、特に心に残っている仕事が接客です。一見、お

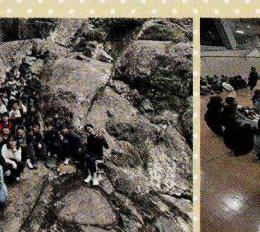
客様にお茶を出すだけのシンプルな作業ですが、細かいルールやマナーがあり、とても難しくなりました。動作一つ一つに意味があり、そこにお客様へのおもてなしの心を込めているように感じました。私は人に対する細かな心遣いなど、日頃の生活にこの職場体験で学んだことを活かしていきたいです。

1年生 集団宿泊学習

澁刺と進め! 189の個性 共に乗り越える挑戦の旅

10月30日～11月1日

体験学習・カレー作り・キャンプファイヤー



万滝コース登山・学年親睦会



ものづくり活動

集団宿泊学習がみんなにとってどんなものになっただろう。私にとっては一生忘れない思い出の一つとして心のなかに刻まれた。

一瞬一瞬のみんなの表情が私の原動力となり、集団宿泊学習に対する不安が少しずつ消えていった。

係会で、真剣に集団宿泊学習を創り上げようとしているみんなの表情。学年の歌練習で肩を組んで一つの輪になったときのみんなの表情。

私は宿泊学習実行委員長という立場でみんなの表情を一番近くで見ることができた。



誰かの原動力となる一八九の個性

一十五 橋本 紗冬

「この学年、やっぱり最高!」そう思えた、集団宿泊学習になった。

2年生 修学旅行 Fly With Smiles ～笑顔で翔ける未来への虹～

10月29日～11月1日

2-1



2-2



2-3



2-4



2-5



修学旅行を終えて

修学旅行実行委員長

二一 牧迫 一徹



仲間と絆を深めることができました

日間。今回は制限等がないことに感謝をもち、最大限に楽しむことができました。僕が「楽しむ」ために大切にすることは、ルールやマナー、節度を守ることです。普段と異なる環境で改

嵐山散策 金閣寺

1日目



めて、自分たちの行動を意識して過ごしたことで、メリハリがつき、本当の「楽しさ」を味わうことができましたと思います。スローガンに掲げた、一人の「スマイル」ではなく、みんなで楽しむ「スマイルズ」も達成できました。この学びを今後の生活、そして人生に生かし、学年としても成長していきたいです。

京都自主研修

2日目



USJ

3日目



大阪市立科学館

4日目



と紡いだ絆は一生の宝物

附中魂!!

～部活動紹介～



男子バスケットボール部



軟式野球部



ハンドボール部



女子バスケットボール部



バドミントン部



男子ソフトテニス部



剣道部



卓球部



女子ソフトテニス部



陸上競技部

共に流した汗と涙、仲間

燃やせ!



サッカー部



女子バレーボール部



吹奏楽部



合唱部



美術部



演劇部



水泳同好会



硬式テニス同好会

研修部

PTA研修視察 令和6年7月16日(火)実施

今年度は参加希望者を募り、80名の保護者の皆様に参加していただきました。鹿児島県立鶴丸高等学校と、鹿児島県立鹿児島中央高等学校の2校を視察してまいりました。公立高校2校を同日に視察して、それぞれの特色を知ることができ、大変有意義な研修視察となりました。



鹿児島県立鶴丸高等学校

創立130周年となる鶴丸高校は、「好學愛知」「自律敬愛」「質実剛健」の理念のもと、「For Others」の精神で教育を行っている学校です。未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材の育成に力を入れています。

現在、附属中出身の生徒が各学年80名ほど在籍しています。

朝課外はありませんが、休日も含め、朝早くから夕方まで「悠学ルーム」と呼ばれる自習スペースを活用できます。また、職員室に近い渡り廊下などにも学習スペースがあるため、先生方に質問しやすく、自分のペースで学業に励むことができる環境から、学校で自習をする生徒が多いようです。

普段の学習内容について、平日は早いペースで進む授業の復習に取り組み、休日は予習に励むよう指導されています。また、今年度より定期考査をなくし、単元テストに変更したことで、スモールステップでの生徒自身の達成度を確認するようになっています。

部活動の加入率は85.6%で、限られた時間の中で熱心に取り組みながら充実した学校生活を送っているようです。

鶴丸高校は、今まで情報をホームページで発信されていましたが、それに加えて公式SNSも開設され、同窓生との繋がりも増えて喜ばれています。



HPIはこちら



Instagramはこちら

鹿児島県立鹿児島中央高等学校

令和5年度に創立60周年を迎えました。本館は、国の登録有形文化財です。学校の改修工事をされたばかりで、校舎にはエレベーターやウォシュレット付きトイレが設置され、白を基調とした明るい雰囲気印象的でした。

「自主(自主独立)」「好學(好學愛知)」「敬愛(敬天愛人)」の三綱領と、それを具現化するための五項目を掲げています。

創立時から行われている団訓(団体訓練)は、今年で61年続く伝統行事です。3年生最後の団訓では、恒例の締めくくりとして帽子投げが行われます。また、卒業生である吉俣良さんが作曲された愛好歌「たいせつ」があり、入学式や卒業式に歌われています。創立60周年を記念して、同校の美術教諭も務めた卒業生が原案を制作された新しい綴帳がお披露目されたばかりです。

部活動の加入率は83%で文武両道に励んでいます。

平成30年度よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校となり、新しい課題などに対して、科学的に議論し見聞を深める取組を3年間通して行っています。特色は、①文系・理系の枠を超えた探究活動、②先輩が後輩の課題研究を指導し、協働して研究を進める「21世紀型郷中教育」システム、③探究活動の教材開発です。

今年度、朝課外は6~12月で実施していますが、来年度以降は検討中です。



HPIはこちら

研修視察参加者の声

- 鶴丸高校も鹿児島中央高校も、文武両道に頑張っている生徒さんばかりが在籍していると感じました。自習環境も整っており、先生方のサポートも知ることができて良かったです。
- 貴重な機会をいただきありがとうございました。思っていた高校の雰囲気と違ったこともあり勉強になりました。自宅に帰って子どもといろいろ話をしたいと思います。
- 宿題や授業の進み具合など、個人ではなかなか聞きづらい事まで答えてくださり参考になりました。どちらの高校も縦横の絆を大切にして、高校生を応援している温かさを感じました。
- 両校とも生徒の自主性、主体性を大事にして探究心を育て、勉強以外にも将来に必要とされる人材育成に力を入れている鹿児島トップの進学校だと感じました。子どもにもこのような学校で貴重な3年間を過ごしてほしいと感じました。

保健生活部

第1回学校保健委員会 令和6年6月27日(木)

【令和6年度学校保健委員会のテーマについて】

親子で取り組む附中生活～学校内外での安全について～

『テーマ設定の理由』本校生徒は鹿児島市各方面から通学しており、通学に多くの時間を必要とする生徒も多い。登下校の様子については公共交通機関を利用する際のマナーや交通ルールについて規範意識の低い人がいるという現状も見られる。また部活動や授業中、休み時間でのけがの発生が増えているという実態もあり、けがの予防についても対策が必要である。さらに地震や豪雨等の自然災害の際の行動や、不審者対応など、危険から身を守ることは命を守るための大事なスキルと考える。そこで、「学校内外での生徒の安全について」を考え、学校教育、家庭教育の中で規範意識を高め、さらに自分の健康は自分で守ることができる子供を育てるための取組を行っていききたい。

取組内容：①公共交通機関の利用を含めた登下校についての実態把握をアンケートにて行う。

②登下校の安全について各家庭でルールを決める。

【各家庭からの我が家のルール】安全についてのアンケートより一部抜粋

- 慌てないように時間に余裕を持って行動する。
- 周りに配慮ある行動がとれるよう、考えて行動する。
- 声の大きさや会話の内容について配慮する。
- 帰宅時間を確認するなど、一日の行動を家族で共有する。
- 遅刻しそうでも焦らず安全を優先する。
- 横断歩道を渡る時は、青信号でも必ず車が止まったことを確認してから渡る。
- 公衆電話の使い方を教えた。
- 災害時、連絡手段が取れないときは、家族で決めた避難場所へ行くようにすることを決めた。
- 危険を感じたら、周囲にすぐに助けを求める。
- 自分の身は自分で守れるよう行動し、普段からもしもの事を考えておく。
- 「両親が呼んでいるから」と言われた時のために家族の中で合言葉を決めている。



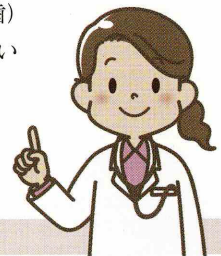
【定期健康診断の結果】

視力検査：矯正視力（眼鏡・コンタクトレンズ使用者）の生徒が全体の約半数。裸眼の生徒の中で、B以下の割合は54%であることから、多くの生徒が視力低下のまま過ごしている可能性がある。矯正視力者の中にもCやDの生徒がいる（32%）ので早急な医療機関の受診が必要である。

歯科検査：本校のむし歯保有者は12名。歯垢付着や歯肉の炎症が見られる生徒やCO保有者（要観察歯）の保有も多いので、歯周病やむし歯に進行していかないように、歯磨きの重要性を指導していきたい。

内科検査：アトピー性皮膚炎を含む皮膚疾患が多く、脊柱や胸郭の異常も見られた。

耳鼻科検査：特に鼻アレルギーや耳垢栓塞が多く見られた。



【学校医の指導助言】

内科医：自分の免疫力を高める。（睡眠・食事・スポーツが大切）

眼科医：視力に合った眼鏡を使用しないと視力の低下が進んでしまう。

プールの日はコンタクトレンズを使用せず眼鏡を使用する。

コンタクトレンズの装着時間を守り、家では眼鏡で過ごす方がいい。

近視が進むと緑内障になりやすい。

耳鼻科医：安全マネジメントを行うためには、レジリエンス（変化や制約がある環境にうまく対応し、機能すること）が大事である。

そのためには、対処・監視・学習・予知の基本的能力が必要である。

歯科医：柔らかい食事が多いのではないかな。よく噛みしっかりと歯磨きをする必要がある。

薬剤師：照度・騒音・水質の検査を定期的に行っている。ダニ対策として学校内のカーペットの撤去が望ましい。

生徒会スタート



★新感謝を伝えられる人に
生徒会長 前田 健太

私は「感謝」を忘れず、周りの人から愛されそして応援される生徒会長になりたいです。私は一年生から一年間、本部役員を経験してきました、生徒全員の前に出て活動だけではなく、見えなところでも誰かのために活動する「縁の下の力持ち」の存在のありがたさに気付かされました。先日の修学旅行では朝、夜とホテルで食事が当たり前に出て、部屋へ戻ると当たり前前に布団

が畳まれている「環境」がありました。私達の学校生活にも同じように感じるものがよくあります。それを当たり前だと思うのではなく一つ一つのことに感謝できる、私はそんな人があふれる附属中になりたいです。そしてそんな附中生全員で、何かに向かって頑張る力を持ち、主体的に学校をよりよくしていきたいです。これまでの附属中の伝統を引き継ぎ、更に発展できるように努めていきます。一年間どうぞよろしくお願いします。

生徒会本部役員

- 生徒会長 前田 健太(二二)
- 副会長 川崎凜桜那(二一三)
- 書記長 川原 千鶴(二二)
- 副書記長 松山 為浩(二二)
- 企画委員長 今出 蒼太(二二四)
- 副企画委員長 徳田 妃(二一五)
- 教養部長 竹之内莉奈(二二)
- 德育部長 木場 南瑛(二一五)
- 保健体育部長 山崎 陽央(二二)
- 情報部長 泰田 花愛(二二)
- 顧問 中野 弘章先生

全附P連PTA研修会

令和6年9月27日(金)・28日(土)

全附P連PTA研修会参加報告

PTA監事 桑水流佳奈

令和六年九月二十七日(金)から九月二十八日(土)にかけて、リーガロイヤルホテル東京にてPTA研修会第十五回全国大会が開催されました。

「子どもたちとこの国の未来のために語り合おう、いまわたしたちのできることを」を開催スローガンとして、全国の附属学校の保護者及び教職員で情報交換を行いました。

また、永井玲衣氏の基調講演では、考えることの大切さを、木村貴志氏からは学び方の大切さを講演いただき、非常に多くの学びを得ることができました。この機会を、今後のPTA活動に生かせるよう取り組んでまいります。



福岡大会

PTA副会長 高 智子

令和6年9月6日(金)TKPガーデンシティ博多にて九附連福岡大会が行われました。

分科会では各校の活動報告や今後の九附連大会の在り方についてなど、活発な意見交換がなされました。懇親会では、九州附属学校の先生方や保護者の皆様と親睦を深め、情報交換をする貴重な機会をいただきました。



先生の中学時代!

黒歴史すらも人生の糧に

「感謝」の第一歩は「気付くこと」



一年四組担任 岩川 朋之



三年二組担任 遠矢 圭祐

私にとって、中学校の三年間はいわゆる黒歴史。とにかく先生が嫌いで、文句ばかり口にした。学校行事には乗り気になれず、ふて腐れた態度で参加した。授業で発表するどころか、教科書すら開かない。一方で、社会のテストは毎回ほぼ満点で、水泳では上位大会の出場まで果たす。好きなことしか頑張れない超偏食型の生徒の取扱いに、当時の先生方はさぞ困ったことだと思う。本当に情けない中学生だった。そんな私が中学校の教員に就いていると知ったら、きつと驚かれるに違いない。ただ、一つ言えるのは、あの時の怠惰な私を見捨てず、声を掛け続けてくれた先生方の記憶があったから、今の自分の教師像があるということ。黒歴史も捨てたものじゃない。いつか、当時の先生方に会う日が来たら、この話をしたいと思ってい



る。この話をした



雄峰170号編集 広報部 私たちが担当しました

- 2-1 寛本 1-1 有村
- 2-2 岡元 1-2 真田
- 2-3 細山 1-3 吉井
- 2-4 今村 3-4 富川
- 2-5 橋口